

防災には日ごろの備えが大切です

災害はいつ、どこで発生するかわからないため、事前の備えがとても大切です。防災に対する正しい知識を身につけ、日ごろから災害に備えましょう。そして、災害時または災害の発生する可能性のあるときには、迷わず速やかに命を守る行動をとってください。

☎危機管理室(☎826-1111 内線2009)

地震から身を守る

- ・寝室や子供部屋にはなるべく物を置かず、家具は支え棒や金具などで固定するなど、住まいの安全対策を行う。
- ・地震が発生したらまずは身の安全を確保し、火の始末は揺れがおさまってから行う。
- ・外にいるときは、塀や看板、河川に近寄らない。

洪水から身を守る

- ・住んでいる地域が、河川からどのくらい離れているか、低地で水が溜まりやすいかなどを確認する。
- ・気象情報や河川の情報に注意し、とくに夜間や高齢者などのいる世帯は早めの避難を心がける。

日ごろから備える

- ・水や食料は3日分を目安に、照明やバッテリー、常備薬、生理用品など、各家庭で必要なものを準備し非常用品を備える。
- ・ハザードマップなどで避難場所を確認し、役割分担や連絡方法、安全な避難経路などを家庭内で話し合う。また、避難経路を実際に歩いてみて、安全に避難できるか確認する。

◎指定避難所…災害により家に戻れなくなった住民が滞在するための施設(備蓄品あり)

◎指定緊急避難場所…災害の危険から一時的に身を守るための場所

※災害の種別や状況により利用できる避難場所が異なります。

認知症の方が安心して暮らせるよう地域で見守り支えあう

9月は茨城県認知症を知る月間です

土浦市ふれあいSOSネットワーク事業

市では、認知症により行方不明となるおそれのある高齢者などについて、①事前に情報を整理する、②行方不明者情報を広く発信する、③見守りの担い手を育てる、「土浦市ふれあいSOSネットワーク事業」を行っています。認知症の方が安心して暮らせるよう、皆さんで見守り支えあう地域を目指し、認知症の正しい知識と理解を深めましょう。

☎高齢福祉課(☎826-1111 内線2500)



①事前に情報を整理する「みまもりお願いシート」

シートのおもて面には写真や身体の特徴、よく行く場所や緊急連絡先を、うら面には行方不明時の対応の流れなどを記載します。高齢福祉課や土浦警察署などのほか、家族の希望により近所の方にも保管していただくことで、身近な地域での見守り体制を強化します。

申し込み/高齢福祉課窓口へ直接

②行方不明者情報を広く発信する

「ふれあいSOSネットワーク」

認知症状のある高齢者などが行方不明になった際に、地区公民館や協力機関などへ迅速に情報を伝達することで、早期発見を目指します。

③見守りの担い手を育てる「みまもりサポーター」

日常の見守りやちょっとした声かけをする応援者です。市で開催する認知症サポーター養成講座とフォローアップ研修を受講した方が登録できます。詳しくはお問い合わせください。

健康講座

「認知症を知ろう！」

備えて安心！脳トレで認知力アップ！」

とき/9月27日(金) 午後2時～3時30分

ところ/市立図書館4階 研修室4

定員/30人(先着順)

申し込み/市立図書館(☎823-4646)へ電話で

ふれあいSOSネットワーク

行方不明発生

地元警察署
市役所(防災無線)

高齢福祉課

県内外の市町村へ
情報提供

地区公民館や協力機関
などへ情報提供

地元警察署
市役所

無事発見
保護